

施策評価シート

施策コード	3102	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	健康づくり、疾病予防の推進	所属名 福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○心と身体の健康は、豊かな人生を支える基本であり、健康で生きがいを持った心豊かな生活を送ることができ「健康寿命の延伸」が求められています。</p> <p>○がんや糖尿病など生活習慣病対策には、予防と早期発見・早期治療が重要です。そのためには、市民一人ひとりが、健康づくりや生活習慣病予防の必要性を認識するとともに、健診を受診するという行動につなげる取組みが必要です。</p> <p>○市民が身近な地域で、気軽に健康づくりに参加できるしくみづくりを進めることにより、健康への関心を高め、疾病予防・介護予防を推進する必要があります。</p> <p>○今後も、市民の主体的な健康維持・増進の取組みを支援するとともに、生活習慣病予防を目的とした、保健事業や健康相談体制の充実などが必要です。</p> <p>○自殺者数が全国平均と比べ高い状況にあり（10万人あたり自殺者数 鳥取県28.2人 全国平均23.9人 2011年鳥取県警統計）、心の健康づくりや相談体制の充実といった予防策に取組むことが必要です。</p>
めざす方向	市民が健康づくりや疾病予防、介護予防に自発的に取組める環境を整え、自らが健康を守り、いつまでもいきいきと元気に暮らせるまちをめざします。
達成するための対策・手段	<p>①健康づくりの推進</p> <p>②疾病予防の推進</p> <p>③特定健診、がん検診の推進</p> <p>④介護予防対策の推進</p> <p>⑤心の健康づくりの推進</p>

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	胃・肺・大腸がん検診	%	目標	30	35	40	45	50
				実績	27.1	28.4	33.6	37.8	40.9
				目標達成率	90%	81%	84%	84%	82%
		(指標の説明) 各検診等の受診率。(基準値は平成22年度の推計値、25年度より国のがん対策推進基本計画で示された算定基準による数値)							
	2	子宮・乳がん検診	%	目標	30	35	40	45	50
				実績	26.7	27.6	47.9	49.7	55.6
				目標達成率	89%	79%	120%	110%	111%
		(指標の説明) 各検診等の受診率。(基準値は平成22年度の推計値、25年度より国のがん対策推進基本計画で示された算定基準による数値)							
	3	介護予防対象者の把握率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)	%	目標	65	67.5	70	72.5	75
				実績	78.2	73.1	66.4	59.3	0
目標達成率				120%	108%	95%	82%		
(指標の説明) 65歳以上で要介護・要支援の認定を受けていない人を対象に、近い将来介護が必要な状態となるおそれがある高齢者の把握率。(把握率の向上は介護予防事業の効果的な実施につながります。)									

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	15,682,948	16,495,420	17,443,812	18,265,038	19,220,299

5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>鳥取市健康づくり計画に基づき継続的に実施しているがん検診、特定検診の受診向上、糖尿病の発症と重症化予防を重点として、運動、食習慣、喫煙対策等の生活習慣病対策を市民とともに取り組んだ。また、がん検診未受診者に再度の通知や電話などを使っての受診勧奨(コールリコール)を実施したり、協会けんぽと連携した受診啓発などに取り組んだ結果、すべてのがん検診の受診率が前年度を上回った。特に女性特有の子宮がん・乳がん検診は目標の50%を上回る結果となった。介護予防事業については、介護予防教室等を開催し、高齢者が自ら介護予防に取り組むよう普及啓発に努めた。</p>
---	---

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>少子高齢化が進行するなか、健康づくり、疾病予防の推進は重要である。事業の推進や意識啓発は、医療機関や介護支援事業所、健康づくり地区推進員、食生活改善推進員など地域の団体等と連携を密にして、地域の実情に合った方法で実施することが必要である。また、推進のために人材育成と支援を行い地域ぐるみの健康づくり等を推進するための体制づくりをより一層進めていくことが重要である。また、専門職の訪問指導のスキルアップにより、対象者の行動変容を促すことを進めていく。</p>

事務事業評価シート

事務事業コード	001043	重点事業区分	リープロ2	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	市民健康手帳導入事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり	事業期間	平成24年度 ~ 全期	
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす	根拠法令、根拠計画等		
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%		ソフト(任意)
	子宮・乳がん検診		26%	50%	運営方法	直営
	介護予防対象者の把握率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)		78%	75%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	市民健康手帳導入事業費		予算事業コード	01-04-01-01-26-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	個人の健康管理を記録・保存し、健康への意識啓発や自己管理を促し、疾病予防へつなげる。
手段 (どうするのか)	地域の教育、相談時や人間ドック、特定保健指導時、イベント等で配布し、健康管理に役立てる。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	導入に向けた検討	手帳の作成、配布	手帳の作成、配布 配布効果の検証	手帳の作成、配布 配布効果の検証	手帳の作成、配布 配布効果の検証	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	3,173	6,659	6,304	4,500	
	直接経費 A	0	3,173	3,745	3,295	1,557	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	85	106	120	98
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	3,088	3,639	3,175	1,459
人件費 B	0	0	2,914	3,009	2,943		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.40	0.40	0.40	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		手帳の配布件数	冊	目標	0	4000	10000	10000	10000	
			実績	0	8000	8000	8200	1471		
	(指標の説明) 市民へ配布した手帳の件数									
	2			目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 予防係 0857-20-3191</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 市民健康手帳を配布、活用を促すことで自己の健康管理を促し疾病予防へつなげる。</p> <p>【事業の成果】 (内容) 平成25年度・26年度は保健医療福祉連携課、27年度から中央保健センターが担当課となった。 平成25年度 ・健康手帳を10,000部作成した。 配布内訳は40歳、60歳到達の市民へ郵送 約5,600部。人間ドック、特定保健指導時に配布 約800部。地域の教育、相談時に配布 約1,600部。その他 若干数 平成26年度 ・健康手帳を8,000部作成した。 配布内訳は40歳、60歳到達の市民へ郵送 約6,000部。人間ドック、特定保健指導時に配布 約3,000部。地域の教育、相談時に配布 約1,000部。その他 若干数 平成27年度 ・健康手帳を2,000部作成した。 地域の教育、相談時や人間ドック、特定保健指導時等で配布 約1,500部。</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き市民健康手帳の発行を継続し、更なる普及に努める。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	手帳の配布件数		200%	80%	82%	15%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民自身での疾病管理及び予防への関心を高めるため必要と考える。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市民自身が自己の健康管理を手軽に実践するうえで必要である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	市民自身で自己の健康についての意識を高めることにより、生活習慣病予防等につながり、医療費の軽減も期待できる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市民自身での疾病管理及び予防への関心を高めるため必要と考える。将来的な医療費・保険料抑制につながる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	市民の健康づくりや、疾病の予防のため、健康手帳を活用することは有効。配布効果の検証の結果、27年度からはふしめ年齢(40歳、60歳)の市民全員への郵送は行わないことにしたが、訪問活動やイベント等での積極的な配布を行い、市民の健康への関心を高める。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000971	重点事業区分	リープロ2	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	健康づくり地区推進員活動事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり	事業期間	昭和58年度 ~ 全期	
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす	根拠法令、根拠計画等	健康増進法	
	施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%		ソフト(義務)
	子宮・乳がん検診		26%	50%	運営方法	直営
	介護予防対象者の把握率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)		78%	75%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	健康づくり地区推進員活動費		予算事業コード	01-04-01-02-08-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	健康づくり地区推進員 各町内に1人以上配置 約1,000名
意図 (どのような状態にするために)	地域における健康づくり活動のリーダーとして、生活習慣病予防を始めとする健康づくり活動に行政と協働で取り組むことにより、市民の健康づくりを推進する。
手段 (どうするのか)	1 健康づくり地区推進員を対象とする研修 2 健康づくり推進員による地区活動(健康講演会・研修会、ウォーキング大会、しゃんしゃん体操、健診受診の声かけなど)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	1研修会 2地区活動(研修会、ウォーキング大会、しゃんしゃん体操、健診の声かけ)	1研修会 2地区活動(研修会、ウォーキング大会、しゃんしゃん体操、健診の声かけ)	1研修会 2地区活動(研修会、ウォーキング大会、しゃんしゃん体操、健診の声かけ)	1研修会 2地区活動(研修会、ウォーキング大会、しゃんしゃん体操、健診の声かけ)	1研修会 2地区活動(研修会、ウォーキング大会、しゃんしゃん体操、健診の声かけ)	
	年度別実績	1推進員研修会1,002人 2地区活動 研修会 31地区 ウォーキング大会 34地区 しゃんしゃん体操 39地区 健診の声かけ 42地区	1推進員研修会 770人 2地区活動 研修会 37地区 ウォーキング大会 39地区 しゃんしゃん体操 40地区 健診の声かけ 42地区	1推進員研修会 655人 2地区活動 研修会 38地区 ウォーキング大会 36地区 しゃんしゃん体操 35地区 健診の声かけ 41地区	1推進員研修会 995人 2地区活動 研修会 37地区 ウォーキング大会 35地区 しゃんしゃん体操 30地区 健診の声かけ 41地区	1推進員研修会1,018人 2地区活動 研修会 41地区 ウォーキング大会 37地区 しゃんしゃん体操 30地区 健診の声かけ 41地区	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	15,753	15,698	15,361	15,771	15,590	
	直接経費 A	4,507	4,559	4,433	4,488	4,554	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,507	4,559	4,433	4,488	4,554		
人件費 B	11,246	11,139	10,928	11,283	11,036		
職員数の内訳	正規職員	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	推進員研修会参加者数	人	目標	1050	1080	1080	1080	1080	
				実績	743	770	655	995	1018	
	(指標の説明) 視察研修、ブロック別研修、合同研修、理事研修の参加者数									
	2	地区研修会実施地区数	地区	目標	38	40	40	40	40	
				実績	31	37	38	37	41	
	(指標の説明) 健康講演会、研修会を実施した地区数									
3	ウォーキング実施地区数	地区	目標	38	40	40	40	40		
			実績	34	39	36	35	37		
(指標の説明) ウォーキング実施地区数										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】健康づくり係 0857-20-3194</p> <p>【第9次総の施策体系】3102</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 鳥取市民健康づくり地区推進員連絡協議会は、地域を中心に、市民の健康づくり事業を推進している。</p> <p>1 協議会では、三役会・常任理事会・理事会を年に各4～5回開催し、事業の内容や推進について協議。また、資質向上のための研修会等を開催し、自己研鑽している。</p> <p>2 地域では、各町内に1人以上の推進員を配置。研修会・健康講演会、健康相談、健康ウォーク、集団検診の受診啓発等を実施し、地域の健康づくり活動のリーダーとして、市民の健康づくりを推進している。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>1 協議会では、三役会4回、常任理事会4回、理事会5回開催し、事業の内容や推進方法について協議することができた。また、理事研修やブロック研修会、国保研修会などに延1,185人の推進員が参加し、健康に関する知識を深めた。</p> <p>2 各地区では、健康講演会・研修会41地区、健康相談38地区、健康ウォーク37地区で実施し、実施回数・参加人数共に増えている。 また、身近な町区での活動(一町区一活動)も増えてきており537町区(64.9%)で実施できた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成28年3月に策定した、第3期健康づくり計画「とっとり市民元気プラン2016」推進のため、計画の周知を図るとともに、協働で健康づくり事業を推進する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	推進員研修会参加者数	71%	71%	61%	92%	94%
	2	地区研修会実施地区数	82%	82%	95%	93%	93%
	3	ウォーキング実施地区数	89%	98%	90%	88%	93%

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	全市及び地区において、市民の健康づくりを積極的に推進している。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	地区の実情に応じた事業を企画し、事業展開している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	全市、地区、町区(集落)単位で、市民の健康づくりを積極的に推進している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	推進員は、各町(区)内会長の推薦により市長が委嘱しており、各町内に1人以上配置し、健康づくり活動を行っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成28年3月に策定した、第3期健康づくり計画「とっとり市民元気プラン2016」推進のため、計画の周知を図るとともに、協働で健康づくり事業を推進する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000967	重点事業区分	リープロ2	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	健康ひろば事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	昭和58年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	健康増進法
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
	介護予防対象者の把握率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)		78%	75%		
予算	予算事業名	健康ひろば事業費		予算事業コード	01-04-01-02-06-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	市民一人ひとりが元気で楽しく暮らせるまちをめざして策定された「とっとり市民元気プラン2011」を推進するため、市民が主体的に取り組むきっかけづくりとなる
手段 (どうするのか)	1 講演会 2 各種健康相談 3 展示、団体の取り組み紹介

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,673	3,476	3,390	3,501	3,415	
	直接経費 A	1,424	1,248	1,204	1,244	1,208	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,424	1,248	1,204	1,244	1,208
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		アンケート結果のうち満足度項目が「とても満足」、「まあ満足した」と回答した者	%	目標	0	0	70	75	80	
			実績	0	0	75	77.5	74		
	(指標の説明) 参加者へのアンケート調査を実施し、各種事業に対する総合的に満足した回答者数の割合									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 予防係 0857-20-3191</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 「自分の健康は自分で守ろう」と、市民一人ひとりの健康意識を高め、健康づくりの大切さを啓発するため、昭和59年より「鳥取市民健康ひろば」を開催している。</p> <p>【事業の成果】 市民一人ひとりが生涯を通じて、その人らしく健康で豊かな人生を送ることを目指して策定された「とっとり市民元気プラン2011」を推進するため、市民一人ひとりが健康づくりの意識と意欲を高め、主体的に取り組むきっかけづくりを目的とした健康づくり講演会等を実施。 (1) 健康づくり講演 (2) 健康相談コーナーの設置 内科相談・歯科相談・薬の相談・血圧体脂肪測定・栄養相談・タバコ相談等 (3) 展示・地元特産物の販売、餅つき、等 委託先：鳥取市民健康ひろば実行委員会 平成25年度 1, 204千円 来場者約600名 平成26年度 1, 244千円 来場者約650名 平成27年度 1, 207千円 来場者約500名</p> <p>【今後の課題・方向性】 社会状況やアンケートによる市民の要望を考慮して内容を毎回見直し継続実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	アンケート結果のうち満足度項目が「とても満足」、「まあ満足した」と回答した者			107%	103%	93%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取市民元気プランの推進に役立っており妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市民の健康づくりの意識と意欲の向上に有効である
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	実行委員会への委託事業であり、各種団体の活動の場として、また、団体同士の連携の場として効果的である
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	各種媒体を通じて市民にPRしている。また、医師会、歯科医師会、薬剤師会、臨床検査技師会等の協力のもと事業展開しており公平性は確保されている

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	健康づくり計画、食育推進計画等の周知啓発や、市民の健康増進・健康づくり意識の向上に有効な事業であり、今後も引き続き現状通り実施していくことが適当と考える。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000968	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	食育推進事業(食生活改善事業)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	食育基本法 健康増進法
	施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
	介護予防対象者の把握率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)		78%	75%		
予算	予算事業名	食育推進事業費		予算事業コード	01-04-01-02-07-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	増加する生活習慣病を予防するために、最も重要である食生活の改善を広く普及するため、食育推進員を養成し、伝達講習会を通して市民の健康づくりにつなげる。
手段 (どうするのか)	食育推進員の養成および育成と食育推進員による地区伝達講習会を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 食生活改善推進員養成講座の実施 地域における伝達講習会の実施	平成24年度 食生活改善推進員養成講座の実施 地域における伝達講習会の実施	平成25年度 食生活改善推進員養成講座の実施 地域における伝達講習会の実施	平成26年度 食育推進員養成講座の実施 地域における伝達講習会の実施	平成27年度 食育推進員養成講座の実施 地域における伝達講習会の実施	
	年度別実績	食生活改善推進員養成講座の実施 2クール 地域における伝達講習会の実施 412回	食生活改善推進員養成講座の実施 2クール 地域における伝達講習会の実施 377回	食生活改善推進員養成講座の実施 2クール 地域における伝達講習会の実施 320回	食育推進員養成講座の実施 2クール 地域における伝達講習会の実施 314回	食育推進員養成講座の実施 2クール 地域における伝達講習会の実施 326回	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	12,676	12,682	11,815	18,701	18,194	
	直接経費 A	3,680	3,771	3,073	3,657	3,480	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,680	3,771	3,073	3,657	3,480		
人件費 B	8,996	8,911	8,742	15,044	14,714		
職員数の内訳	正規職員	1.20	1.20	1.20	2.00	2.00	
	嘱託職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	伝達講習会開催数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			回	目標	400	400	400	400	400	
			実績	412	377	320	314	326		
	(指標の説明) 伝達講習会の回数									
	2	食育推進員養成講座受講者数	人	目標	50	40	40	40	40	
				実績	28	38	21	27	32	
(指標の説明) 食育推進員養成講座の受講人数										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】食育推進係 0857-20-3192</p> <p>【9次総の施策体系】3102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P94(健025)</p> <p>【事業の概要】 食生活の多様化に伴い、生活習慣病が増加しつつある。生活習慣病予防のための知識を習得し、家族、地域の食生活の改善をはじめ、食育の実践を推進するため、平成9年度より食生活改善推進員養成講座を実施。養成講座修了生で組織される鳥取市食生活改善推進員連絡協議会に、地域における食生活改善地区活動事業を委託し実施している。平成26年度より名称を「食生活改善推進員連絡協議会」から「食育推進員会」に変更した。</p> <p>【事業の成果】 地域における食生活の改善を積極的に推進していくことを目的に、食育推進員の養成と地区組織を育成し、増加する生活習慣病予防に最も重要である食生活の改善を広く普及し、健康づくりの推進につなげた。</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>・決算額</td> <td>3,073千円</td> <td>3,657千円</td> <td>3,480千円</td> </tr> <tr> <td>・食育推進員養成講座</td> <td>8回シリーズ 1会場2グループ</td> <td>8回シリーズ 1会場2グループ</td> <td>8回シリーズ 1会場2グループ</td> </tr> <tr> <td>・養成講座修了者数</td> <td>20人</td> <td>26人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>・地区伝達講習会</td> <td>320回</td> <td>314回</td> <td>326回</td> </tr> </table> <p>*委託先：鳥取市食育推進員会</p> <p>【今後の課題・方向性】 食育推進員の養成と食育推進員の地区活動を通して、確かな知識の普及に継続して取り組んでいく。</p>		平成25年度	平成26年度	平成27年度	・決算額	3,073千円	3,657千円	3,480千円	・食育推進員養成講座	8回シリーズ 1会場2グループ	8回シリーズ 1会場2グループ	8回シリーズ 1会場2グループ	・養成講座修了者数	20人	26人	29人	・地区伝達講習会	320回	314回	326回
		平成25年度	平成26年度	平成27年度																	
・決算額	3,073千円	3,657千円	3,480千円																		
・食育推進員養成講座	8回シリーズ 1会場2グループ	8回シリーズ 1会場2グループ	8回シリーズ 1会場2グループ																		
・養成講座修了者数	20人	26人	29人																		
・地区伝達講習会	320回	314回	326回																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	伝達講習会開催数	103%	94%	80%	79%	82%
	2	食育推進員養成講座受講者数	56%	56%	53%	68%	68%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市の健康問題にあったテーマを設定し、伝達講習会を実施することで、食生活改善を広く普及し、疾病予防につなげている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	身近な地域で伝達講習会を実施し、食生活改善を推進することで成果をあげることができる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	市栄養士が食育推進員に伝達講習会のための研修を実施し、推進員が各地域住民に伝達する効果的な手法をとっている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	伝達講習会の他、レシピを広報誌、ケーブルテレビなどで周知することにより多くの市民にも関心をもっていただく取り組みをしている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	<small>ライフスタイルの変化や「食」の多様化に伴い、生活習慣病の増加や「食」に関する情報が多い中、食育推進員の養成を行い、確かな知識の普及につなげる。また、市の健康課題を最優先にした推進員の活動が円滑に実施できるよう積極的に支援をし、推進員が継続して啓発に取り組むことで疾病予防につなげる。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	000970	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	食育推進事業(母子栄養改善事業)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	食育基本法 地域保健法 母子保健法
	施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
	介護予防対象者の把握率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)		78%	75%		
予算	予算事業名	母子栄養改善事業費		予算事業コード	01-04-01-02-07-03	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	乳幼児期から思春期までの子及びその保護者
意図 (どのような状態にするために)	生涯健康でありつづける為に必要な知識や技術を習得し、幼児期からの健康的な食生活を身につけ、生活習慣病を予防する。
手段 (どうするのか)	講話及び調理実習、参加型体験学習

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 食育教室 63回	平成24年度 食育教室 63回	平成25年度 食育教室 63回	平成26年度 食育教室	平成27年度 食育教室	
	年度別実績	食育教室 77回	食育教室 67回	食育教室 46回	食育教室 84回	食育教室 71回	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	13,012	8,418	12,630	8,481	11,702	
	直接経費 A	1,017	992	974	959	1,402	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	233
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,017	992	974	959	1,169
人件費 B	11,995	7,426	11,656	7,522	10,300		
職員数の内訳	正規職員	1.60	1.00	1.60	1.00	1.40	
	嘱託職員	0.60	1.20	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.60	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		食育教室参加者数	人	目標	2000	2050	2050	1650	1650
			実績	1980	1591	1101	2131	1746	
			(指標の説明) 食育教室の参加者の人数						
	2		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							
3		目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)							

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 食育推進係 0857-20-3192</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P94（健026）</p> <p>【事業の概要】 乳幼児期の食のあり方は、健康的な食習慣を定着させる大切な時期であるが、育児不安の要因の一つにもなっている。そのため、従来より乳児期を対象に実施している「離乳食講習会」に加え、平成18年度より幼児期を対象とした「食育教室」を実施している。 また、平成27年度は、新規に、栄養士による離乳食の調理状況を収録したDVDを作製することで、離乳食作りが初めての保護者や、就労等により受講が困難な方への貸出を開始できるようにした。</p> <p>【事業の成果】 乳幼児期より日本的な食文化や食材に触れる機会を増やすことで、規則正しい食習慣が身につき、健やかな心と体の成長、保護者の不安軽減につながった。</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>・決算額</td> <td>975千円</td> <td>959千円</td> <td>1,402千円</td> </tr> <tr> <td>・離乳食講習会</td> <td>39回</td> <td>42回</td> <td>43回</td> </tr> <tr> <td>・食育教室</td> <td>45回</td> <td>84回</td> <td>71回</td> </tr> <tr> <td>・DVD作製枚数</td> <td></td> <td></td> <td>30枚</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 生涯の健康維持には、乳幼児期からの健康的な食習慣の定着が必要である。引き続き、健全な食生活が実践できるよう対象者に合わせた支援をしていく。</p>		平成25年度	平成26年度	平成27年度	・決算額	975千円	959千円	1,402千円	・離乳食講習会	39回	42回	43回	・食育教室	45回	84回	71回	・DVD作製枚数			30枚
	平成25年度	平成26年度	平成27年度																		
・決算額	975千円	959千円	1,402千円																		
・離乳食講習会	39回	42回	43回																		
・食育教室	45回	84回	71回																		
・DVD作製枚数			30枚																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	食育教室参加者数	99%	78%	54%	129%	106%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	生活習慣病を予防し、生涯健康であり続けるための知識や技術習得のためには、乳幼児期からの規則正しい食習慣定着が必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	乳幼児健診などで把握した各地域の実情に応じて、地域の関係機関と連絡を取りながら実施することにより、対象者に合わせた支援が行える。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	地域の関係機関と連携を取ることで、事前に対象者が把握でき、事前準備もスムーズに行えている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	偏りがなく全市で幅広く実施している。離乳食講習会に参加困難な方への対応も行えるようになった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	心身の機能の発達著しい乳幼児期から、食に関する知識の習得や、体験をすることで生涯にわたる健全な心身と豊かな人間性を育む基礎となる事業として今後も充実を図る。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000966	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	健康教育・健康相談・訪問指導事業		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	昭和58年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	健康増進法
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
	介護予防対象者の把握率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)		78%	75%		
予算	予算事業名	健康教育・健康相談・訪問指導事業費			予算事業コード	01-04-01-02-05-09

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	原則として、鳥取市に居住地を有する40歳から64歳までの者。
意図 (どのような状態にするために)	がんや糖尿病などの生活習慣病の発症と重症化を予防し、市民の健康寿命の延伸を図る。
手段 (どうするのか)	がんや生活習慣病についての正しい知識の普及啓発及びがん検診や健康診査の受診につながる意識啓発。健診結果に基づく相談体制、保健指導の充実。糖尿病等生活習慣病の発症及び重症化予防のため重点的な取り組みを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	1健康教育の実施 2健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) 3訪問指導の実施 4血糖・血圧・脂質に異常がある人の減少	1健康教育の実施 2健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) 3訪問指導の実施 4血糖・血圧・脂質に異常がある人の減少	1健康教育の実施 2健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) 3訪問指導の実施 4血糖・血圧・脂質に異常がある人の減少	1健康教育の実施 2健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) 3訪問指導の実施 4血糖・血圧・脂質に異常がある人の減少	1健康教育の実施 2健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) 3訪問指導の実施 4血糖・血圧・脂質に異常がある人の減少	
	年度別実績	1健康教育実施回数:308回 2健康相談件数(延べ):4,300件 3訪問指導件数(延べ):410件	1健康教育実施回数:300回 2健康相談件数(延べ):2,275件 3訪問指導件数(延べ):517件	1健康教育実施回数:310件 2健康相談件数(延べ):5,377件 3訪問指導件数(延べ):564件	1健康教育実施回数:270件 2健康相談件数(延べ):6,239件 3訪問指導件数(延べ):702件	1健康教育実施回数:270件 2健康相談件数(延べ):6,888件 3訪問指導件数(延べ):731件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	18,910	19,383	24,516	19,747	19,805	
	直接経費 A	7,664	8,244	13,588	8,464	8,769	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,100	1,074	1,074	752	712
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,564	7,170	12,514	7,712	8,057		
人件費 B	11,246	11,139	10,928	11,283	11,036		
職員数の内訳	正規職員	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	
	嘱託職員	1.70	0.00	1.50	2.00	2.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	生活習慣病予防訪問指導延件数	人	目標	0	0	800	800	800
				実績	0	0	564	702	731
	(指標の説明) 生活習慣改善するために訪問指導を実施								
2	健康教育実施回数	回	目標	380	380	320	320	320	
			実績	308	300	310	270	270	
(指標の説明) 正しい知識を習得し、生活習慣改善が実施できるための教育回数									
3	健康相談件数(延べ)	件	目標	12000	12000	2500	2500	2500	
			実績	4300	2275	5377	6239	6888	
(指標の説明) 心身の健康に関すること、健診結果に基づく保健指導等についての相談件数									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】健康づくり係 0857-20-3194</p> <p>【9次総の施策体系】3102</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 健康増進法に基づき、健康教育・健康相談・訪問指導を行い、健康の増進に関する正しい知識の普及、心身の健康に関する個別の相談及び必要な助言・指導を行うことで、生活習慣病の予防及び介護を要する状態になることを予防し、健康づくりを支援する。</p> <p>【事業の成果】 健康教育、健康相談、訪問指導の実施。 平成25年度（健康教育）310回（健康相談）226回（訪問指導）564人 決算額 13, 587, 628円 平成26年度（健康教育）270回（健康相談）184回（訪問指導）702人 決算額 8, 436, 083円 平成27年度（健康教育）270回（健康相談）182回（訪問指導）731人 決算額 8, 736, 500円</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も継続して健康教育、健康相談、訪問指導を実施し、適切な指導や支援を行うことにより、生活習慣病の予防及び介護を要する状態になることを予防し、健康づくりを支援する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	生活習慣病予防訪問指導延件数			71%	88%	91%
	2	健康教育実施回数	81%	81%	97%	84%	84%
	3	健康相談件数(延べ)	36%	19%	215%	250%	276%

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	健康増進法に基づき、市民の健康づくりに寄与している。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	健康教育・健康相談・訪問指導を実施することにより、自分にあったよりよい生活習慣を確立できた人、受療行動につながった人があり、健康意識の向上につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	生活習慣病予防のための健康意識の改善・行動変容について、必要な対象者に専門職が継続支援していくことが、市民全体の健康水準の向上につながる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	保健指導が必要な対象者と相談希望のある人には相談できる体制を整えている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も継続して健康教育、健康相談、訪問指導を実施し、適切な指導や支援を行うことにより、生活習慣病の予防及び介護を要する状態になることを予防し、健康づくりを支援する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000981	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	各種予防接種事業(一類疾病予防接種)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	予防接種法
	施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	外部委託
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
	介護予防対象者の把握率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)		78%	75%		
予算	予算事業名	A類疾病予防接種費		予算事業コード	01-04-01-04-01-07	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	BCG(12か月未満児)/二種混合【DT】(11歳~12歳)/四種混合(3か月~7歳5か月)/麻疹風しん混合【MR】(1歳児、幼保年長)/水痘(1歳~2歳)/日本脳炎(6か月~19歳)/ヒブ(2か月~4歳)/小児用肺炎球菌(2か月~4歳)/子宮頸がん(小6~高1)/三種混合【DPT】(3か月~7歳5か月)/ポリオ(3か月~7歳5か月)/
意図 (どのような状態にするために)	乳幼児、学童、生徒等に対し各種予防接種を行い疾病予防を図る。
手段 (どうするのか)	BCG...保健センターにおける集団接種 BCG以外...医療機関における個別接種

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 6種類の予防接種を各年齢に応じた必要な接種を行う	平成24年度 6種類の予防接種を各年齢に応じた必要な接種を行う	平成25年度 10種類の予防接種を各年齢に応じた必要な接種を行う	平成26年度 11種類の予防接種を各年齢に応じた必要な接種を行う	平成27年度 11種類の予防接種を各年齢に応じた必要な接種を行う	
	年度別実績	BCG1,799件、ポリオ2,999件、DPT7,036件、DT1,485件、MR1期1,598件、MR2期1,671件、MR3期1,633件、MR4期2,220件、日脳9,295件	BCG1,666件、ポリオ5,523件、DPT5,801件、DT1,487件、四種1,195件、MR1期1,784件、MR2期1,683件、MR3期1,694件、MR4期1,431件、日脳8,287件	BCG1,293件、ポリオ1,876件、DPT1,785件、DT1,218件、四種5,216件、MR1期1,691件、MR2期1,693件、日脳6,483件、ヒブ7,181件、小児肺炎6,853件他	BCG1,601件、ポリオ844件、DPT430件、DT1,279件、四種6,388件、MR1期1,620件、MR2期1,571件、日脳6,410件、ヒブ6,651件、小児肺炎6,555件他	BCG1,629件、DT1,196件、四種6,475件、MR1期1,576件、MR2期1,585件、水痘3,332件、日脳5,686件、ヒブ6,429件、小児肺炎6,462件他	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	244,695	283,868	378,581	391,713	368,890	
	直接経費 A	238,697	277,927	372,753	385,695	363,004	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	238,697	277,927	372,753	385,695	363,004		
人件費 B	5,998	5,941	5,828	6,018	5,886		
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	
	嘱託職員	1.00	1.00	0.00	1.00	2.00	
	臨時職員	1.00	1.00	1.00	0.50	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	麻疹、風疹予防接種(2期)の接種率	単位	%	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		実績	95	95	95	95	95					
		(指標の説明) 2期の接種率(封じ込め作戦)	94	94.4	94	93.1	95.1					
	2	目標	0	0	0	0	0					
		実績	0	0	0	0	0					
		(指標の説明)										
	3	目標	0	0	0	0	0					
		実績	0	0	0	0	0					
		(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 予防係 0857-20-3191</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P102（健042）</p> <p>【事業の概要】 予防接種法第2条第2項（A類疾病の指定）、第5条第1項（定期接種の実施）、予防接種法施行令第1条（政令で定めるA類疾病の指定）、第1条の3（定期予防接種を行う疾病及びその対象者）に基づき集団接種及び個別接種として実施する。</p> <p>【事業の成果】 伝染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与している。 平成25年度 214,141千円 （BCG1,293件、ポリオ1,876件、三種混合1,785件、二種混合1,218件、四種混合5,216件、MR1期1,691件、MR2期1,693件、日本脳炎6,483件） 平成26年度 385,695千円 （BCG1,601件、ポリオ844件、三種混合430件、二種混合1,279件、四種混合6,388件、MR1期1,620件、MR2期1,571件、日本脳炎6,410件、ヒブワクチン6,651件、小児用肺炎球菌6,555件、子宮頸がん88件、水痘3,256件） 平成27年度 363,004千円 （BCG1,629件、ポリオ188件、三種混合10件、二種混合1,196件、四種混合6,475件、MR1期1,576件、MR2期1,585件、日本脳炎5,686件、ヒブワクチン6,429件、小児用肺炎球菌6,462件、子宮頸がん49件、水痘3,332件）</p> <p>【今後の課題・方向性】 予防接種法に基づき、適切に実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	麻疹、風疹予防接種(2期)の接種率	99%	99%	99%	98%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	予防接種法に基づき市町村が実施する事業である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	予防接種法に基づき市町村のみが実施している。また、適宜接種勧奨を行い接種率の向上を図っている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	医療機関へ委託し、効率的に事業を実施している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	予防接種法により接種対象者が定められている。対象者一律に自己負担なしとなっている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	国の感染症予防対策の動向を見据えながら、予防接種法等に基づき適切に事業を実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000982	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	各種予防接種事業(二類疾病予防接種)		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	予防接種法及び予防接種法施行令
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	外部委託
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	B類疾病予防接種費		予算事業コード	01-04-01-04-01-08	
		介護予防対象者の把握率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)		78%	75%	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	インフルエンザ予防接種 (①65歳以上の方②60～64歳の方で心臓、腎臓、呼吸器等に一定の障害(1級)を有する人及び免疫機能が抑制される人③重症心身障がい者及び重症心身障がい児) 高齢者肺炎球菌感染症予防接種 (①65歳の方(経過措置あり)②60～64歳の方で心臓、腎臓、呼吸器等に一定の障害(1級)を有する人及び免疫機能が抑制される人)
意図 (どのような状態にするために)	インフルエンザ及び肺炎球菌感染症による疾病の重症化、感染の拡大の防止を図る。
手段 (どうするのか)	医療機関における個別接種

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	インフルエンザワクチンの接種費用助成を行い、インフルエンザによる市民の重症化、感染の拡大を防ぐ。 接種対象者45,512人	インフルエンザワクチンの接種費用助成を行い、インフルエンザによる市民の重症化、感染の拡大を防ぐ。 接種対象者46,190人	インフルエンザワクチンの接種費用助成を行い、インフルエンザによる市民の重症化、感染の拡大を防ぐ。 高齢者:対象者48,701人 重症心身障がい者・児:対象者202人	インフルエンザ・肺炎球菌ワクチン接種費用助成を行う。 対象者 インフルエンザ【高齢者等】50,291人【重症心身障がい者・児】213人 高齢者肺炎球菌11,437人	インフルエンザ・肺炎球菌ワクチン接種費用助成を行う。 対象者 インフルエンザ【高齢者等】51,497人【重症心身障がい者・児】218人 高齢者肺炎球菌 11,362人	
	年度別実績	【65歳以上】 ※60～64歳で一定の障がいを持つ。非課税・生保世帯 10,362人 課税世帯20,810人	【65歳以上】 ※60～64歳で一定の障がいを持つ。非課税・生保世帯 10,645人 課税世帯20,631人	【65歳以上】 ※60～64歳で一定の障がいを持つ。非課税・生保世帯 11,167人 課税世帯21,304人 【重症心身障がい者・児】非課税・生保世帯 56人 課税世帯98人	インフルエンザ 【65歳以上・一定の障がい者】33,163人 【重症心身障がい者・児】1170人 高齢者肺炎球菌感染症【65歳以上の経過措置による対象者・一定の障がい者】5,875人	インフルエンザ 【65歳以上・一定の障がい者】33,019人 【重症心身障がい者・児】1166人 高齢者肺炎球菌感染症【65歳以上の経過措置による対象者・一定の障がい者】4,974人	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	108,696	99,759	101,446	153,639	152,544	
	直接経費 A	104,198	95,303	97,075	149,126	148,130	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	58	0	0	0	0
一般財源	104,140	95,303	97,075	149,126	148,130		
人件費 B	4,498	4,456	4,371	4,513	4,414		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	65歳以上接種率	%	目標	70	70	70	70	70
				実績	68.5	67.7	66.7	65.9	64.1
	(指標の説明) 対象者数における接種者数の割合								
2		60～64歳で一定の障がいを持つ対象者接種率	%	目標	0	0	70	70	70
				実績	0	0	71.8	68.6	67
	(指標の説明) 対象者数における接種者数の割合								
3		重症心身障がい者及び重症心身障がい児接種率	%	目標	0	0	70	70	70
				実績	0	0	88.1	79.8	76.1
	(指標の説明) 対象者数における接種者数の割合								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 予防係 0857-20-3191</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P103 (健043)</p> <p>【事業の概要】 平成13年の予防接種法の改正により高齢者に対し定期接種としてインフルエンザ予防接種を開始した。また、平成25年度には重度の心身障がい者及び重症心身障がい児への接種費用助成を開始し、平成26年度には予防接種法施行令の改正により定期接種として高齢者肺炎球菌感染症予防接種を開始した。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>97,075千円</td> <td>149,126千円</td> <td>148,130千円</td> </tr> <tr> <td>接種者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・高齢者</td> <td>32,471人</td> <td>33,163人</td> <td>32,956人</td> </tr> <tr> <td>※60歳～64歳の一定の障がい者含む</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・重度の心身障がい者 及び重症心身障がい児</td> <td>154人</td> <td>170人</td> <td>166人</td> </tr> <tr> <td>高齢者肺炎球菌感染症</td> <td>なし</td> <td>5,875人</td> <td>4,974人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 インフルエンザ、肺炎球菌感染症による疾病の重症化、感染の拡大を防止するために、継続して実施する。</p>		平成25年度	平成26年度	平成27年度	決算額	97,075千円	149,126千円	148,130千円	接種者数				インフルエンザ				・高齢者	32,471人	33,163人	32,956人	※60歳～64歳の一定の障がい者含む				・重度の心身障がい者 及び重症心身障がい児	154人	170人	166人	高齢者肺炎球菌感染症	なし	5,875人	4,974人
		平成25年度	平成26年度	平成27年度																													
決算額	97,075千円	149,126千円	148,130千円																														
接種者数																																	
インフルエンザ																																	
・高齢者	32,471人	33,163人	32,956人																														
※60歳～64歳の一定の障がい者含む																																	
・重度の心身障がい者 及び重症心身障がい児	154人	170人	166人																														
高齢者肺炎球菌感染症	なし	5,875人	4,974人																														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1 65歳以上接種率	98%	97%	95%	94%	92%
	2 60～64歳で一定の障がい有する対象者接種率			103%	98%	98%
	3 重症心身障がい者及び重症心身障がい児接種率			126%	114%	109%

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	予防接種法に基づき市町村が実施する事業である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	予防接種法に基づく予防接種は市町村のみが実施主体であり、適切に事業を実施している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	医療機関に委託し、効率的に事業を実施している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	予防接種法において対象者が定められている。また、対象者の世帯の課税状況に応じて適宜自己負担額を設定している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	国の感染症予防対策の動向を見据えながら、インフルエンザ、肺炎球菌感染症の予防接種を実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000962	重点事業区分	リープロ2	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	健康診査事業		所属名	福祉保健部 保険年金課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	昭和58年度～ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	昭和58年～老人保健法 平成16年～健康増進法 平成19年～がん対策基本法
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
	介護予防対象者の把握率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)		78%	75%		
予算	予算事業名	健康診査費			予算事業コード	01-04-01-02-05-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各種健診の対象となる市民
意図 (どのような状態にするために)	対象者が、健康づくりや生活習慣病予防の必要性を認識し、健康の保持増進、疾病の早期発見のために必要な健診を受ける
手段 (どうするのか)	健康づくりに関する啓発に努めるとともに、市民が受診しやすい健診受診体制の整備及び健診等に関する相談体制の充実を図る

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		大腸がん無料クーポン券事業の拡充(節目) 休日検診の拡充 がん検診精密検査受診率向上対策の充実 子宮・乳がん無料クーポン事業の継続 未受診者対策の実施	受診期間の拡大 休日検診機会の拡充、未受診者対策、がん検診無料クーポン券事業等継続	がん検診無料クーポン券配布事業継続 30代節目年齢女性のHPV・子宮頸がん検診事業の導入 節目対象者への受診勧奨再通知 休日検診の実施	特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布 30代節目年齢女性のHPV・子宮頸がん検診継続 未受診者への受診勧奨再通知 休日検診の拡充	特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布継続 働く世代の女性特有のがん検診未受診者勧奨事業 未受診者へのコールリコール 休日検診の拡充
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	358,113	390,505	400,434	436,639	458,455
職員数の内訳	直接経費 A	339,370	368,019	380,531	417,834	440,062
	国・県	18,792	19,130	19,215	21,112	13,225
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	34,600	38,241	42,531	41,737	43,600
	一般財源	285,978	310,648	318,785	354,985	383,237
人件費 B	18,743	22,486	19,903	18,805	18,393	
職員数の内訳	正規職員	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				目標	30	35	40	45
1	胃・肺・大腸がん検診受診率(40～69歳)	%	実績	27.1	28.4	33.6	37.8	40.9
			(指標の説明) 25年度より国のがん対策推進基本計画(H24)で示された受診率算定基準(対象者69歳以下)					
2	子宮・乳がん検診受診率(子宮:20～69歳、乳:40～69歳)	%	目標	30	35	40	45	50
			実績	26.7	27.6	47.9	49.7	55.6
3	がん検診精密検査受診率	%	目標	85	86.5	88	89	90
			実績	85.8	87	88	88.5	90
(指標の説明) 精密検査の対象者で検査を受けた人の割合								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 健診推進室 0857-20-0320</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 8 5 (健007) 12月補正予算・P 1 4 (福009)</p> <p>【事業の概要】 健康増進法に基づき各種健診を実施し、健康意識の高揚、生活習慣改善・疾病の早期発見・早期治療を図る。</p> <p>【事業の成果】 国基準受診率 (69歳以下の受診率) * 子宮・乳は2年に1回の受診率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td> <td>32.7%</td> <td>36.5%</td> <td>39.5%</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>32.2%</td> <td>37.7%</td> <td>40.7%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>35.8%</td> <td>39.2%</td> <td>42.5%</td> </tr> <tr> <td>子宮がん</td> <td>48.5%</td> <td>50.5%</td> <td>55.3%</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>47.2%</td> <td>48.9%</td> <td>55.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 国及び県は第2期がん対策推進計画を策定し、がん対策をより一層推進することとしており、本市においても「がんの早期発見」に向けさらなる対策を強化する必要がある。 また、働く世代ががんに罹患し社会に与える影響が大きいことから、働く世代の受診率を向上させるための対策を重点的に推進する。</p> <p>※その他財源の諸収入は、各種健診自己負担金等</p>		平成25年度	平成26年度	平成27年度	胃がん	32.7%	36.5%	39.5%	肺がん	32.2%	37.7%	40.7%	大腸がん	35.8%	39.2%	42.5%	子宮がん	48.5%	50.5%	55.3%	乳がん	47.2%	48.9%	55.8%
		平成25年度	平成26年度	平成27年度																					
胃がん	32.7%	36.5%	39.5%																						
肺がん	32.2%	37.7%	40.7%																						
大腸がん	35.8%	39.2%	42.5%																						
子宮がん	48.5%	50.5%	55.3%																						
乳がん	47.2%	48.9%	55.8%																						

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1 胃・肺・大腸がん検診受診率(40～69歳)	90%	81%	84%	84%	82%
	2 子宮・乳がん検診受診率(子宮:20～69歳、乳:40～69歳)	89%	89%	120%	110%	110%
	3 がん検診精密検査受診率	101%	101%	100%	99%	100%

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	本事業は、健康増進法及びがん対策基本法に市の責務として定められている。国は、対策推進計画の中で、目標値を受診率50%(69歳以下の受診率)としている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	健診事業の推進は、市民の健康保持に欠かせない重要な取り組みである。がん健診の受診率は年々向上している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	外部委託を取り入れ、市民が検診を受けやすい体制を整備している。健診による疾病の早期発見により、医療費削減効果も期待できる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	がん検診の対象者は、国のがん検診実施指針に定められている。受益者負担は原則健診費用の約2割と定め、他市と比較しても妥当である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	がん対策は国・県を挙げて取り組んでいるところであり、今後も未受診者への勧奨に重点的に取り組むなど、受診率向上に努めていく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002987	重点事業区分	リープロ2	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	特定健康診査等事業		所属名	福祉保健部 保険年金課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成20年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	高齢者医療確保法、厚生労働省令第157号第1条
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	特別会計
	介護予防対象者の把握率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)		78%	75%		
予算	予算事業名	特定健康診査等事業費			予算事業コード	07-13-02-01-01-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	特定健康診査対象者(40歳~74歳の国民健康保険被保険者)
意図 (どのような状態にするために)	生活習慣病の改善及び重症化予防により健康増進を図る
手段 (どうするのか)	特定健診・特定保健指導の体制整備や啓発活動及び訪問指導活動により、受診率(利用率)の向上を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画			・自己負担金の軽減・ 節目年齢に対する無料 クーポン券の配布(継続) ・休日検診の拡充 ・未受診者(節目年齢) に対する受診勧奨の 徹底・キャンペーン等 による啓発活動・保健 師、看護師による訪問 指導による受診(利用)	・健診料金の無料化 ・コールセンターによ る未受診者受診勧奨 ・啓発活動の強化 ・集団検診の拡充 ・看護師の訪問によ る受診及び利用勧奨 ・保健師等の訪問によ る特定保健指導の充実	・協会けんぽとの連携 協定による受診啓発活 動の強化 ・コールセンターによ る未受診者受診勧奨 ・集団検診の拡充 ・看護師による訪問受 診及び利用勧奨 ・保健師等の訪問によ る特定保健指導の実施	
	年度別実績			・自己負担金の軽減 ・40歳及び節目年齢へ の無料クーポン券配布 ・休日健診の拡充 ・コールセンターによ る受診勧奨事業 ・看護師による訪問受 診及び利用勧奨 ・特定保健指導の夜間 実施	・健診料金の無料化 ・コールセンターによ る未受診者受診勧奨 ・啓発活動の強化 ・集団検診の拡充 ・看護師の訪問によ る受診及び利用勧奨 ・保健師等の訪問によ る特定保健指導の充実 に取組んだ	・健診料金の無料化 ・コールセンターによ る未受診者受診勧奨 ・啓発活動の強化 ・集団検診の拡充 ・看護師の訪問によ る受診及び利用勧奨 ・保健師等の訪問によ る特定保健指導の充実 に取組んだ	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	60,701	69,792	72,478	
	直接経費 A	0	0	42,488	50,235	54,085	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	29,016	41,168	34,349
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	13,472	9,066	18,736
		一般財源	0	0	0	1	1,000
人件費 B	0	0	18,213	19,557	18,393		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	2.50	2.60	2.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	特定健康診査の受診率	%	目標	57	65	30	37.5	45	
				実績	23.8	26.1	27.8	31	33	
	(指標の説明) 国民健康保険被保険者の特定健康診査対象者のうち健診を受診した者の割合(平成25年度から第2期計画)									
	2	特定保健指導の利用率	%	目標	39	45	28	36	44	
実績				22.3	26.7	30.8	42.3	44		
(指標の説明) 特定健診受診後、特定保健指導対象者のうち指導を利用した者の割合(平成25年度から第2期計画)										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 健診推進室 0857-20-0320</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 3 1 6 (国 0 1 1)</p> <p>【事業の概要】 医療制度改革に伴い、国保被保険者(40～74歳)を対象に、生活習慣病に着目した特定健診・特定保健指導を実施し、医療費の適正化を総合的に推進する。</p> <p>【事業の成果】 法定報告受診者数(受診率) *27年度は見込み <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> <td>平成27年度(見込み)</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td>8,481人(27.8%)</td> <td>9,222人(31.0%)</td> <td>10,000人(33.0%)</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導</td> <td>271人(30.8%)</td> <td>410人(42.3%)</td> <td>550人(44.0%)</td> </tr> </table> </p> <p>1 コールセンターの活用や訪問による未受診者への受診勧奨、休日健診の実施、キャンペーンでの啓発活動などの取り組みにより、受診者が増加した。</p> <p>2 特定保健指導については、未利用者に対する訪問や夜間電話により徹底した勧奨を実施するとともに、訪問による特定保健指導を強化した結果、平成25年度利用率30.8%(確定値)から平成26年度利用率42.3%(確定値)と11.5ポイント向上した。</p> <p>3 平成26年度受診者に対する特定保健指導の結果、メタボ判定において約4割に改善が見られた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取市国保加入者の生活習慣病の発症及び重症化予防は、今後の国保医療費削減に向けての最重要課題である。特定健診受診率及び特定保健指導利用率向上のため、さらなる取り組みを強力に推進する必要がある。</p> <p>※その他財源のその他は、国民健康保険料等</p>		平成25年度	平成26年度	平成27年度(見込み)	特定健診	8,481人(27.8%)	9,222人(31.0%)	10,000人(33.0%)	特定保健指導	271人(30.8%)	410人(42.3%)	550人(44.0%)
		平成25年度	平成26年度	平成27年度(見込み)									
特定健診	8,481人(27.8%)	9,222人(31.0%)	10,000人(33.0%)										
特定保健指導	271人(30.8%)	410人(42.3%)	550人(44.0%)										

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1 特定健康診査の受診率	42%	40%	93%	83%	73%
	2 特定保健指導の利用率	57%	57%	110%	118%	118%
	3					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	本事業は、高齢者医療確保法に保険者の責務として義務付けられている。国の定めた最終年度の目標が60%と高いため、実現に向けては取り組みの強化が必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	制度導入時からの事業実施による効果を分析した結果、医療費削減効果が認められた。同じ目的を持つ他の事業と連携して役割分担し、国保加入者の総合的な医療費適正化を目指す
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	特定健診・特定保健指導ともに外部委託を取り入れ、平日受けにくい人への休日健診、未受診者に対する受診勧奨、保健指導の夜間実施や訪問実施等、対象者の利便性の向上に努めている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	対象者は、法律で定められている。受診及び利用による医療費削減効果が見込まれることから、受益者負担を軽減して受診率利用率向上に取り組む。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	中長期的な医療費適正化と健康寿命の延伸に結びつく事業であり、今後もさらなる受診率向上に努めるとともに、保健指導対象者に対する生活習慣病予防対策を強力に推進する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001005	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	二次予防事業対象者把握事業		所属名	福祉保健部 地域包括ケア推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	介護保険法、地域支援事業実施要綱
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	外部委託
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	
予算	予算事業名	二次予防事業対象者把握事業費		予算事業コード	15-09-01-01-01-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	要介護者及び要支援者を除く介護保険第1号被保険者
意図 (どのような状態にするために)	要介護状態等となるおそれの高い状態にあると認められる65歳以上の高齢者の方を早期に発見し、介護予防事業等の参加勧奨等に繋げる。
手段 (どうするのか)	平成26年度二次予防事業対象者のうち、平成27年度の二次予防事業へ参加希望のあった者へ基本チェックリストを送付し、回答を返送していただく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 基本チェックリスト回収率65.0%	平成24年度 基本チェックリスト回収率67.5%	平成25年度 基本チェックリスト回収率70.0%	平成26年度 基本チェックリスト回収率70.0%	平成27年度 基本チェックリスト回収率70.0%	
	年度別実績	基本チェックリスト回収率78.2% 発送者数35,815人 有効回答数28,004人 23年度は、ニーズ調査も実施している。	基本チェックリスト回収率74.8% 発送者数35,835人 有効回答数26,176人	基本チェックリスト回収率66.4% 発送者数37,135人 有効回答数24,641人 25年度は、高齢者実態調査(ニーズ調査)も実施している。	基本チェックリスト回収率59.3% 発送者数39,208人 有効回答数23,239人	—	—
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	28,316	25,774	15,360	16,636	5,403	
	直接経費 A	25,317	22,804	12,446	13,627	2,460	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	25,317	22,804	12,446	13,627	2,460		
人件費 B	2,999	2,970	2,914	3,009	2,943		
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		回答率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)	%	目標	65	67.5	70	70	70
	(指標の説明) 基本チェックリスト回収率	実績	78.2	74.8	66.4	59.3	0		
2	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画連携係 0857-20-3449</p> <p>【9次総の施策体系】3102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算P327(介003)</p> <p>【事業の概要】 平成22年度の地域支援事業実施要綱の改正に伴い、要介護・要支援者を除く介護保険第1号被保険者全員に対し、基本チェックリスト等を実施。要介護状態等となる恐れが高い高齢者を把握し、該当者が健康的な生活を在宅で送ることができるよう、介護予防事業等へ繋げる。 これまでは、4万人以上の65歳以上の在宅高齢者に案内文書を送付し、健康状況などを回答いただくチェックリスト等を実施していたが、平成27年度は前年の二次予防事業対象者で二次予防事業参加希望者に対して実施するよう改めた。</p> <p>【事業の成果】 基本チェックリスト等実施実績者 平成25年度 37,135人 平成26年度 39,208人 平成27年度 752人</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度から実施する介護予防・日常生活総合事業の内容検討にあわせて、本事業の見直し検討を進める。</p> <p>※その他財源のその他は、介護保険料等</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	回答率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)	120%	111%	95%	85%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	介護予防事業につながる事業であり、目的は妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	運動や口腔、栄養やうつ傾向など心身機能の低下を認識し、介護予防事業等へつなげることができている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	全数配布によらない実施を行った結果、昨年度よりも費用対効果が得られた。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全数配布によらない実施を行ったが、関係部署での送付対象者を検討するなどし、公平に事業実施が行われた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度から実施する介護予防・日常生活総合事業の内容検討にあわせて、本事業の見直し検討を進める。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001008	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	介護予防普及啓発事業		所属名	福祉保健部 地域包括ケア推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	介護保険法
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	
	介護予防対象者の把握率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)		78%	75%		
予算	予算事業名	介護予防普及啓発事業費			予算事業コード	15-09-01-02-01-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	高齢者
意図 (どのような状態にするために)	高齢者が住みなれた地域で自立した生活を行うため。
手段 (どうするのか)	健康教育の実施やパンフレット等を配布し、介護予防に関する知識や重要性について普及啓発を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 健康教育の実施パンフレットの配布	平成24年度 健康教育の実施パンフレットの配布	平成25年度 健康教育の実施パンフレットの配布	平成26年度 健康教育の実施パンフレットの配布	平成27年度 健康教育の実施パンフレットの配布	
	年度別実績	・地域啓発活動(健康教育)の実施 延べ135回 3,162人 ・介護予防啓発パンフレット ・介護保険ガイドブック ・認知症啓発パンフレット	・地域啓発活動(健康教育)の実施 延べ160回 1,467人 ・介護予防啓発パンフレット ・介護保険ガイドブック ・認知症啓発パンフレット	・地域啓発活動(健康教育)の実施 延べ79回 1,553人 ・介護予防啓発パンフレット ・介護保険ガイドブック ・認知症啓発パンフレット	・地域啓発活動(健康教育)の実施 延べ124回 2,716人 ・介護予防啓発パンフレット ・介護保険ガイドブック ・認知症啓発パンフレット	・地域啓発活動(健康教育)の実施 延べ179回 3,982人 ・介護予防に関する説明・実技、介護保険ガイドブック認知症予防等のパンフレットを配布	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,526	2,394	2,329	2,590	2,612	
	直接経費 A	277	166	143	333	405	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	277	166	143	333	405		
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	実施回数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		目標	回		100	100	100	100	100	
	実績			135	160	79	124	179		
	(指標の説明) 健康教育を実施した回数									
	2	受講者数	人	目標	1650	1900	2000	2000	2000	
		実績			3162	1467	1553	2716	3982	
(指標の説明) 健康教育を受講した人										
3	目標			0	0	0	0	0		
	実績			0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】企画連携係 0857-20-3449
	【9次総の施策体系】3102
	【予算計上の経過】なし
	【事業の概要】 平成18年度からの介護保険法改正により、地域支援事業の一次予防事業（旧：介護予防事業一般高齢者施策）の一環として、介護予防の普及啓発のため本事業を実施。専門職等による健康教育や、介護予防のパンフレット配布等により介護予防に関する知識や重要性について普及啓発を行う。
	【事業の成果】 地域などで介護予防や認知症予防に関する教室の開催、パンフレットの配布等により、知識や重要性について普及啓発を行った。
【今後の課題・方向性】 平成29年度から実施する介護予防・日常生活支援総合事業では、地域でのより一層の介護予防普及啓発が重要とされている。今後は、従来の行政による取組みに加えて、医療・介護の専門職を有する社会福祉法人等の民間事業者との協働の手法も取り入れながら、地域での普及啓発活動の拡大を図っていく。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	実施回数	135%	160%	79%	124%	179%
	2	受講者数	192%	192%	78%	136%	136%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市が主となり、介護予防普及啓発を行っていくことは必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	専門職の講師派遣や、パンフレット等の教育媒体を使用し、活用できている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	地域の要望に応じたり、集会所に出向いたりし介護予防普及啓発を行っており、有効的な手段である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	地域住民を対象としており公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度から実施する介護予防・日常生活支援総合事業では、地域でのより一層の介護予防普及啓発が重要とされている。今後は、従来の行政による取組みに加えて、医療・介護の専門職を有する社会福祉法人等の民間事業者との協働の手法も取り入れながら、地域での普及啓発活動の拡大を図っていく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001018	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	認知症サポーター養成事業		所属名	福祉保健部 地域包括ケア推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり	事業期間	平成17年度 ~ 全期	
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす	根拠法令、根拠計画等	介護保険法	
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%		ソフト(任意)
	子宮・乳がん検診		26%	50%	運営方法	直営
	介護予防対象者の把握率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)		78%	75%	会計区分	
予算	予算事業名	認知症サポーター等養成事業費		予算事業コード	15-09-03-02-02	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	一般市民
意図 (どのような状態にするために)	認知症の方とその家族に対する理解者や協力者を育成し、認知症になっても安心して暮らすことができる地域づくりをする。
手段 (どうするのか)	キャラバン・メイト（認知症サポーターの講師役）が、地域や職場において認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する地域等の理解者を増やし声かけや見守りを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 認知症サポーター養成講座の開催 キャラバン・メイト活動支援	平成24年度 認知症サポーター養成講座の開催 キャラバン・メイト活動支援	平成25年度 認知症サポーター養成講座の開催 キャラバン・メイト活動支援	平成26年度 認知症サポーター養成講座の開催 キャラバン・メイト活動支援	平成27年度 認知症サポーター養成講座の開催 キャラバン・メイト活動支援	
	年度別実績	認知症サポーター養成講座 88回	認知症サポーター養成講座 51回	認知症サポーター養成講座 50回 キャラバンメイト研修等 18回	認知症サポーター養成講座 32回	認知症サポーター養成講座 61回	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	235	1,651	2,161	1,648	1,735	
	直接経費 A	235	166	221	144	264	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	235	166	221	144	264
人件費 B	0	1,485	1,940	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	実施回数	単位	回	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		目標	93	93	94	94	94					
		実績	88	51	50	32	61					
	(指標の説明) サポーター養成講座を実施した回数											
	2	サポーター数	人	目標	8000	9000	10000	11000	12000			
		実績	9557	10768	12185	13235	14479					
(指標の説明) 養成講座を受講しサポーターになった人(累計)												
3	キャラバン・メイト数	人	目標	180	200	220	220	220				
	実績	176	188	202	230	179						
	(指標の説明) サポーター養成の講師役数											

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域支援係 0857-20-3453</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らすことができるまちを目指し、地域の中で認知症の人やその家族を見守り、応援する認知症サポーターの養成を目的とする。 講師役のキャラバン・メイトが、町内会や公民館、小中学校や職場等に出向いて講座を開催する。 また、キャラバンメイトの自主的な活動の支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 ▽サポーター養成講座 平成27年度実績 1,494人 ▽キャラバン・メイト研修会(年2回) ▽キャラバン・メイト連絡会 (全市年1回及び地域包括支援センター単位でそれぞれ開催)</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、町内会や公民館、小中学校や企業等に認知症サポーター養成講座の開催をたらしかかていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	実施回数	95%	55%	53%	34%	65%
	2	サポーター数	119%	119%	122%	120%	120%
	3	キャラバン・メイト数	98%	94%	92%	105%	81%

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	認知症に関する正しい知識の普及・啓発をすることは必要。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	地域の人材育成につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	外部委託では人材育成が難しい。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	基本的に地域からの要請により対応している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	小中学校や企業等へも積極的に働きかけ、本事業を積極的に展開していく必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001034	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	老人の明るいまち推進事業		所属名	福祉保健部 高齢社会課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	外部委託
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	
予算	予算事業名	老人の明るいまち推進事業費		予算事業コード	15-09-03-03-03-12	
		介護予防対象者の把握率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)		78%	75%	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	おおむね60歳以上の人
意図 (どのような状態にするために)	高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいを図る。
手段 (どうするのか)	「健康講座」・「各種趣味の教室」等の開催、「社会奉仕活動」の促進、「世代間交流事業」の支援

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	健康講座 「趣味の教室」 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 「地域ふれあい事業」 「各種スポーツ大会」 社会奉仕活動	健康講座 「趣味の教室」 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 「地域ふれあい事業」 「各種スポーツ大会」 社会奉仕活動	健康講座 「趣味の教室」 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 「地域ふれあい事業」 「各種スポーツ大会」 社会奉仕活動	健康講座 「趣味の教室」 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 「地域ふれあい事業」 「各種スポーツ大会」 社会奉仕活動	健康講座 「趣味の教室」 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 「地域ふれあい事業」 「各種スポーツ大会」 社会奉仕活動	
	年度別実績	健康講座 「趣味の教室」 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 「地域ふれあい事業」 「各種スポーツ大会」 社会奉仕活動	健康講座 「趣味の教室」 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 「地域ふれあい事業」 「各種スポーツ大会」 社会奉仕活動	健康講座 「趣味の教室」 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 「地域ふれあい事業」 「各種スポーツ大会」 社会奉仕活動	健康講座 「趣味の教室」 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 「地域ふれあい事業」 「各種スポーツ大会」 社会奉仕活動	健康講座 「趣味の教室」 高齢者作品展 囲碁・将棋大会 「地域ふれあい事業」 「各種スポーツ大会」 社会奉仕活動	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,435	5,162	5,379	5,464	5,289	
	直接経費 A	4,685	4,419	4,650	4,712	4,553	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	1,708
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	2,276
一般財源	4,685	4,419	4,650	4,712	569		
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	事業参加者数	人	目標	5800	5900	6000	6000	6000
				実績	5449	5929	5739	5765	4336
	(指標の説明) 社会奉仕活動を除く各種開催した講座・教室等に参加した人数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 高齢者企画係 0857-20-3451</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいを図るため、多様な活動の機会を提供する。 これらの活動を通し新しいことにチャレンジし、様々な人と交流することにより介護予防を図り、老後を明るく豊かなものとする。</p> <p>【事業の成果】 趣味の教室、作品展、囲碁将棋大会、地域ふれあい事業、各種スポーツ大会、社会奉仕活動、健康講座等 平成25年度決算額 4,651千円 参加者5,739人 平成26年度決算額 4,712千円 参加者5,765人 平成27年度決算額 4,553千円 参加者4,336人</p> <p>【今後の課題・方向性】 22年度までは、市社会福祉協議会と市老人クラブ連合会に委託していたが、23年度以降は事業を一本化して市社会福祉協議会が実施している。当面現体制で継続する。参加人数の増加に向けて、より効果的な広報の検討を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業参加者数	94%	100%	96%	96%	72%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいを図ることで、介護予防に繋がるため、ほぼ妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいを図ることで、介護予防に繋がるため、ほぼ妥当である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	受託者の施設を利用するなど、効率的に実施されている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	おおむね60歳以上の方すべてを対象としており、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	22年度までは、市社会福祉協議会と市老人クラブ連合会に委託していたが、23年度以降は事業を一本化して市社会福祉協議会が実施している。当面現体制で継続する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000978	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地域自死対策緊急強化事業費		所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	自殺対策基本法
施策	3102	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診		27%	50%	運営方法	補助金交付
	子宮・乳がん検診		26%	50%	会計区分	一般会計
	介護予防対象者の把握率(27年度は把握方法の見直し検討期間とし評価対象外)		78%	75%		
予算	予算事業名	地域自死対策緊急強化事業費			予算事業コード	01-04-01-02-19-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民、健康や福祉に関する地域の団体(健康づくり地区推進員、民生児童委員、介護支援専門員、市民ボランティア(にこにこにっこりあいさつ隊)等)
意図 (どのような状態にするために)	「とっとり市民元気プラン2011」の目標のひとつである「温かい人間関係といのちを守る地域をつくりましょう」を目指す。自死予防のための人材育成や啓発を行うことにより、うつ病等の心の病気についての理解を深め、支援の必要な人の悩みを傾聴し、自死の徴候を早期に発見し、適切な支援、治療につながる事ができる市民を増やす。また、ストレスと上手につきあい、温かい人間関係づくりを行う市民を増やす。
手段 (どうするのか)	1 相談支援 相談相談環境整備支援、こころの相談窓口 2 人材育成 研修会 3 普及啓発 講演会、パネル展示、広報、市民ボランティアとの協働啓発等

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	1講演会 2ゲートキーパー(自殺のサインに早期に気づきつなぎ、見守る人)研修 3パネル展示、広報啓発活動 4社会福祉法人 鳥取いのちの電話 電話相談支援事業	1講演会 2ゲートキーパー(自殺のサインに早期に気づきつなぎ、見守る人)研修 3パネル展示、広報 4こころの健康と暮らしの法律相談	1講演会 2ゲートキーパー(自殺のサインに早期に気づきつなぎ、見守る人)研修 3パネル展示、広報 4こころの健康と暮らしの法律相談	1講演会 2ゲートキーパー(自殺のサインに早期に気づきつなぎ、見守る人)研修 3パネル展示、広報 4こころの健康と暮らしの法律相談	1講演会 2ゲートキーパー(自殺のサインに早期に気づきつなぎ、見守る人)研修 3パネル展示、広報 4若年層への相談窓口周知	
	年度別実績	1講演会 200人参加 2地域研修会 40回延1,087人、相談13回延273人参加 3市職員ゲートキーパー研修 49人参加 4パネル展 4回、広報啓発活動 随時 5電話相談支援事業 6協働啓発	1講演会 350人参加 2地域研修会 13回延456人、相談5回延128人参加 3市職員ゲートキーパー研修 52人参加 4パネル展 3回、広報啓発活動 随時 5電話相談支援事業 6協働啓発	1地域健康教育 29回439人 心の健康相談 5回 177人 3ゲートキーパー研修 4回 120人 4広報啓発活動 パネル展3回 5協働啓発	1地域健康教育 20回457人 心の健康相談 4回 78人 2ゲートキーパー研修 2回 127人 3パネル展 5回 4協働啓発	1地域健康教育 24回484人 2ゲートキーパー研修 2回 69人 3パネル展 1回 4若年層向け自死予防啓発チラシ12,000枚配布(乳幼児健診保護者、鳥取市内の大学・専門学校学校等)	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,790	4,216	4,041	4,193	4,331	
	直接経費 A	1,041	503	398	432	652	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,041	503	398	432	393
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	259		
人件費 B	3,749	3,713	3,643	3,761	3,679		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	講演会、研修会開催回数	回	目標	15	18	20	20	20	
		実績		42	15	33	23	25		
	(指標の説明) 自殺予防に関する講演、研修の開催回数									
	2	講演会、研修会への参加者人数	人	目標	1000	1000	1000	1000	1000	
実績		1336		981	616	653	677			
(指標の説明) 自殺予防に関する講演、研修への参加者人数										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】健康づくり係 0857-20-3194</p> <p>【9次総の施策体系】3102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：6月補正予算・P10(健004)</p> <p>【事業の概要】 国は都道府県に平成21年度から5カ年計画で「地域自殺対策緊急強化基金」を造成。平成26年度一年間期間延長して終了したが、新たな国の経済対策により「地域自殺対策強化交付金」が設けられ、若年層やハイリスク者への対策が強化されることとなり、平成27年度も県から市町村に交付金が分配。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度 398千円(人材育成…研修開催、普及啓発…啓発用紙芝居、相談窓口紹介カード等) 平成26年度 432千円(人材育成…研修会開催 電話相談支援…鳥取いのちの電話補助 普及啓発…啓発用紙芝居、メンタルチェックカード等) 平成27年度 652千円(人材育成…研修会開催 電話相談支援…鳥取いのちの電話補助 ころの体温計導入 普及啓発…相談窓口紹介カード、若年層向け自死予防啓発チラシ等)</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市の現状を踏まえながら、自殺対策計画の策定及び自死対策の取り組みを引き続き継続して実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	講演会、研修会開催回数	280%	83%	165%	115%	125%
	2	講演会、研修会への参加者人数	134%	134%	62%	65%	65%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>目的の妥当性</p> <p><small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small></p>	<p>■ 1. 妥当である</p> <p>□ 2. ほぼ妥当である</p> <p>□ 3. あまり妥当ではない</p> <p>□ 4. 妥当ではない</p>	<p>今後も、市民一人ひとりまた市民と関わることの多い団体に対し、ころの病気に関する知識の普及啓発や相談窓口の周知を行っていく必要がある。</p>
<p>事業の有効性</p> <p><small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small></p>	<p>■ 1. 有効である</p> <p>□ 2. やや有効である</p> <p>□ 3. あまり有効でない</p> <p>□ 4. 有効でない</p>	<p>鳥取市の自死者は減少傾向だが、若年層の自死者の割合が増えている。乳幼児健診の保護者、鳥取市内の大学・専門学校等、若年層に対しての啓発・周知をすることが出来た。また、ゲートキーパー研修会においても、介護支援専門員へ拡大することが出来た。</p>
<p>資源投入の効率性</p> <p><small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small></p>	<p>■ 1. 効率的である</p> <p>□ 2. やや効率的である</p> <p>□ 3. あまり効率的ではない</p> <p>□ 4. 効率的ではない</p>	<p>精神保健福祉交流会では、参加者の8割が自死予防の行動(声かけ、相談、専門機関へのつなぎ)について実践できると回答し、効果につながった。ころの体温計のアクセス数(20~30歳代)は全体の4~5割を占め、若年層へ向けた周知につながっている。</p>
<p>サービスの公平性</p> <p><small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small></p>	<p>■ 1. 公平である</p> <p>□ 2. やや公平である</p> <p>□ 3. あまり公平ではない</p> <p>□ 4. 公平ではない</p>	<p>市民一人ひとり、周りの地域、市民と関わることの多い団体に対し、普及啓発を行うことが出来た。また、鳥取市の自死の状況から若年層への対象に対し周知をすることが出来た。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<p>□ 1. 拡充</p> <p>■ 2. 改善継続</p> <p>□ 3. 現状維持</p> <p>□ 4. 縮小</p> <p>□ 5. 休止、廃止、終了</p>	<p>□ 1-1 意図的に拡充</p> <p>□ 1-2 制度的に自然増加</p> <p>■ 2-1 手段等の改善</p> <p>□ 2-2 効率化、簡素化</p> <p>□ 2-3 他事業との統合</p>	<p>□ 4-1 意図的に縮小</p> <p>□ 4-2 制度的に自然減少</p> <p>□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止</p> <p>□ 5-2 意図的に廃止</p> <p>□ 5-3 制度的に終了</p>
	<p>担当課長の評価コメント</p>	<p>本市の現状を踏まえながら、自殺対策計画の策定及び自死対策の取り組みを引き続き継続して実施する。</p>	